

# 地方創生のビジネスデザイン

地方創生政策は2015～19年度の第1期5年間を終了し、今年度から第2期が始まる。第2期の目玉政策として、国からは関係人口の創出・拡大、AIやロボティクスなどのSociety5.0の推進などが示されている。第1期では地方自治体を通じて1兆円を超える交付金などさまざまな支援を行ったが、地方から東京への人の流れはむしろ拡大し、出生率は上がらず、期待した成果は全く出していない状況にある。金融、公共事業が牽引するアベノミクスの限界でもあるが、国主導でなく民間主導による地域課題を解決する自律的なビジネスを生み出す必要がある。過疎化が進むいくつかの地域で、活発にローカルビジネスが生まれ、移住者が増え、元気な地域になっている例はその可能性を示唆している。

本スクールでは、改めて地方創生とは何かを確認し、活発にビジネスが生まれている事例を研究し、ポストコロナを睨んで、未来志向のビジネスデザインを策定する手法を学びます。自治体、外郭団体の職員の方々、議員、NPO、企業職員、その他関心ある皆様のご参加をお待ちしています。

**なお、今期の授業は当面 Zoom でのオンライン講義を基本とし、可能となった段階で対面授業に切り替えます。**  
**(Zoom でのオンライン講義においては、各自でパソコンとインターネット環境、もしくはスマートフォンのご準備をお願いします。詳細は受講者に連絡します。)**

## スケジュール： 各回 18:20～20:20

2020年5月22日(金)	「徳島県神山町、まちを将来世代につなぐ集合住宅プロジェクト」 ゲストスピーカー 一般社団法人神山つなぐ公社	Zoom 講義 高田 友美 氏
2020年6月26日(金)	「徳島県三好市で生まれるローカルビジネス」(仮) ゲストスピーカー 前三好市政策監	横山 喜一郎 氏
2020年7月17日(金)	「デザインシンキングで地域発のイノベーションを創出する」	岩寄 博論 氏
2020年8月21日(金)	「地域発イノベーションケーススタディ：やさいバス」	岩寄 博論 氏
2020年9月25日(金)	「デザインシンキングワークショップ：地域資源を活用したサービスをデザインする」 【最終レポート提出】	岩寄 博論 氏

## 主査 石井 良一 (滋賀大学 産学公連携推進機構 教授)

早稲田大学大学院工学修士、ペンシルバニア大学大学院博士課程修了、Ph.d、技術士(都市及び地方計画)、農業経営アドバイザー。野村総合研究所、野村アグリプランニング&アドバイザーを経て、現在、滋賀大学産学公連携推進機構教授、(一財)地方自治体公民連携研究財団理事長。主な共著書として、「自治体の事業仕分け」、「パブリックサポートサービス市場ナビゲーター」、「市民が創り運営する市民ガバメントの設計試案」。その他、委員、講師など多数。2003年4月から「滋賀大学公共経営イブニングスクール」を主宰。

## 副査 提中 富和 (滋賀大学 産学公連携推進機構 プロジェクトアドバイザー)

### メインゲストスピーカー 岩寄 博論 (株式会社博報堂 ミライの事業室ビジネスデザインディレクター)

県立虎姫高校卒、慶應義塾大学大学院修了、イリノイ工科大学大学院修了、京都大学大学院博士。博報堂部長を経て現職。大学院大学至善館特任准教授。関係人口の創出を目指す「東京ー長浜リレーションズ」会長を務めている。

対面授業の場所 滋賀大学 大津サテライトプラザ(JR 大津駅前日本生命ビル 4F) 定員 30名

受講料 2,500円 \*受講許可後、請求書を送付します。後日指定する期限内に納付をお願いします。

## 成績評価

成績は、出席(7割以上を評価)、最終レポート、授業への参画で評価します。一定程度以上の成績を得たものについては、修了証書を発行します。

## 受講申込

締切日： 5月15日(金) \*但し、先着順で定員(30名)になり次第締め切ります。

宛先： 滋賀大学産学公連携推進課 担当：畑中 TEL：0749-27-1141

※裏面申込書を記入の上 FAX、もしくは内容を記入いただき E-mail で、お申し込みください。

FAX：0749-27-1431 E-mail：icr@shiga-u.ac.jp

主催 国立大学法人滋賀大学

# FAX 送信票

FAX: 0749-27-1431

## 2020 年度前期 滋賀大学公共経営イブニングスクール申込書

(フリガナ) 氏名		性別		年齢	
--------------	--	----	--	----	--

事業所名・ 団体名		所属部署	
		役職名	
連絡先住所 (請求書送付宛先)			
電話番号		E-mail	